

Monitor Panel の概要

Pyramix には Mixer を補完する機能として Monitor Panel が装備されています。

Monitor Panel は、Source と Output を個別に選択することができる、便利なモニターセクションです。

もちろん、外部機器のダイレクトモニタリング機能や、演奏者(アナウンサー)への Cue 送りのコントロール、 トークバックの設定も可能です。

Monitor Panel は、

Pyramix の Toolbar のショートカットをクリックするか、

Selection	Fade Edit	or I	Medi	а	Auto	matio	on	Vide	20	Wo	rksp	aces	A	DR	Ma	chine	5
КŦ	1 Q 💥	Q	Q	\odot	Q		1332		111			•		Q	0		

 メニューの View > Windows / Tools > Monitor を選択する ことで開くことができます。

スピーカーセ Monitor ! Talkb レクター << MB1 (Mix Bus) >> -11.1 dB Ŧ ソースの選択 ST1 (Stereo) 22 Mor モニターレベル コントロール Mute Dim Master Output CD スピーカーメ Master コントロ-ソースの種類の選択 Buses / Externals Link Off LFE Mute Solo IP SoloX Phase RS トークバック & Cue Reset Talk to A コントロール MB1 (Mix Bus Destination 1





Monitor Panel *O* Enable

Monitor Panel は、Project が PCM の場合に Enable にして使用することができます。 DSDプロジェクトでは動作することができないため常に Disable となり、表示することさえできません。

Monitor Panel を Enable にするには、Monitor Panel 左上のボタンをクリックして黄色にしてください。



このトップバーの右側には、[Monitor !] [Configure] [External] {Talkback] のそれぞれの設定ページを開く ボタンが並んでいます。

Source の選択 1.

Monitor Panel には Monitor Panel の入力である Source のセレクターが左側に備えられています。

1.1. **Busses**の選択

Busses は、Pyramix の Mixer のバスのセレクターです。

例えば、開いている Pyramix Project に作成した Mixer に 5.1バス と Stereo バス が ある場合、どちらのバ スをモニタリングするかを選択することができます。

また、バス名の左にある+をクリックすると、個々のバスが表示され、ON/OFFでどのバスをモニターするか(し ないか)を選択できます。

🔲 Monitor !		Monitor ! Configure	Externals Talkback 🗙
Sources	Selected Sources	Selected Output	Output
🚍 🔚 MB1 (Mix Bus)	<< MB1 (Mix Bus) >>	<< Stereo >>	-11.1 dB
L .	<<	<< Mono >>	
<mark>-</mark> R			
c .			ð
			Mute Dim
т			Master Output
🧧 Tr			
hT 📒			
In Istano)			
Buses	Link Off LFE Mute Solo	IP SoloX Phase RS	



1.2. Source セレクターの表示切替

Source セレクターの下部には、ソースの大きな区分である Pyramix Mixer Bus と外部機器(External)の ダイレクトモニターの切り替えスイッチがあります。

スイッチをクリックすると [Busses] > [External] > [Busses / External] に切り替わり、該当するものが Source セレクター部に表示されます。

	BA	BAG
emals Unk Off LFE Mute	Solo Buses / Exter	nals Unk Off LFE Mute Solo
er	nals Unk Off UFE Mute	nals Link Off LFE Mute Solo

1.3. **External** の作成

外部機器(External)のダイレクトモニタリングを行うには、Monitor Panel 上部右側の [External] をクリックし て開くページで、どの様な機器(Name)がどの Pyramix システムの物理入力に接続されているかの設定を行っ ておく必要があります。

Monitor !	Monitor ! Con	nfigure Externa	als Talkback 🗶
1. 左上にある [New] をクリックして、新しい外部機器を作成	します。		

- 2. 作成した機器名部分をクリックすると、任意の名前をつけることができます。
- 3. 右上の [L] [C] [R] [Ls] [Rs] の下のボックスrをクリックして、外部機器のそれぞれのチャンネル が接続されている Pyramix システム の物理入力ポートを設定します。
- 4. 名前部分を選択して、左上の [Move Up] [Move Down] でボタンの表示位置を入れ替えることがで きます。
- 5. 名前の右横にある赤いボタンは、それぞれの機器の表示の Enable です。







Selected Output の選択 2.

> Monitor! ページのこのセクションには2つの役割があります。これらの設定は Configure ページで行 います。

	Monitor ! Configure	Externals Talkback 🗙
Selected Sources	Selected Output	Output
<< MB1 (Mix Bus) >>	<< Stereo >>	-11.1 dB
<<	<< Mono >>	
		50
		S S
		Mute Dim
		Master Output
	Selected Sources	Monitor! Configure Selected Sources Selected Output < MB1 (Mix Bus) >> < MB1 (Mix Bus) >> < Mono >>

2.1. 複数のスピーカーセットを設定している場合、スピーカーの切り替えを行います。



2.2. 多チャンネルバスをスピーカー数の少ない Speaker Set でモニターする場合、ダウンミックス を聴くことができます。

	Monitor !	Configure
S	elected Outp	
् दद	Stereo	>>
< द	Mono	<<
	Mono	22

Configure ページ 3.

[Configure] をクリックして Configure ページを開きます。



3.1. **Preset** されている Speaker Set の Enable/ Disable 必要ない Speaker Set は、Disable してください。



: dsp Japan Ltd, 4-8-5 Nakameguro, Meguro-ku, Tokyo 153-0061 T: 03-5723-8181 F: 03-3794-5283 U: http://www.dspj.co.jp



3.2. 新しい Speaker Set の作成

[External] のページでの操作と同様、新しい Spekaer Set を作成し、物理ポートを設定しま す。







- Max Vol., Dim Value. Ref Col. の設定 3.3.
- 3.4. Merter への送り
 - これらの設定は、パネル左下にあります。



Max Vol	Monitor Panel のつまみを最大に回した時の出力レベルを設定します。
Dim Level	Dim になった時の減衰レベルを設定します。
Ref Vol.	Monitor Panel のつまみをダブルクリックした時に自動的に設定される リファレンスレベル を設定します。





Configure

4. Talkback ページ

このページでは、スタジオスピーカーやヘッドフォンの出力と Talkback に関する設定を行います。 [Talkback] をクリックして開きます。

Monitor ! Configure Externals Talkback X

4.1. **Destination**

他のページと同様、左上の [Add] で、スタジオ スピーカーやヘッドフォンなどを作成し、それ らが接続されている物理ポートを設定します。

🔲 Talkback 📃		Monitor ! Configure Externals Talkback 🗙
Destination Add Delete Source	[Add] をクリックして新し Talkbackする場所を作成し	ノい します。
Add	[Delete] ぐその場所を泪し	しまり。
Delete	Stop enable talk to all	
r		
	Source 1	
Destination 1	-20.0 -144.5 Dim Free	作成した場所に接続して いる出力を設定します。
赤いボタンで Enableし、名育 設定します。	前を	

4.2. Source

[Add] して、Talkback マイクを接続している 物理ポートを設定します。







Talkback のモードなどを設定します。 4.3.



Record reset latch	ON にすると、DAWが Rec に入ると Talkback がリセットされ、OFF になります。
Play reset latch	ONにすると、DAWが Play に入ると Talkback がリセットされ、 OFFになります。
E Stop enable talk to all	ON にすると、DAWが Stop すると全ての Talkback がONになりま す。
-20.0 0.0 Dim Rec Free	Talkback 時の Dim レベルを設定します。
-20.0 0.0 Dim Rec Free	送りのレベルを設定します。通常 0dB に設定します。
-20.0 0.0 Dim Rec Free	Talkback が ON 時の Monitor Panel の動作を設定します。 • Dim:モニターがDimします。 • None: モニターがDimしません。
-20.0 0.0 Dim Free	Talkback が ON 時の動作モードを設定します。 ● Rec Free:ボタンを押されたときのみON。 ● Rec Lock:ボタンを押してON。もう一度押してOFF。



Contraction Contra T : 03-5723-8181 F : 03-3794-5283 U : http://www.dspj.co.jp



実際の操作 4.4.

Talkback は、[Monitor!] ページで操作します。

Talkback	Monitor !	Configure	Externals	Talkback	X

Talkback は Monitor Panel の最も下の部分に位置しています。

複数の Destination が設定されている場合は、個別の Talkback もできるように設計されています。

Buses		Solo IP Sol	oX Phase RS	
		Tellistente		
		TB_Mic		Reset Talk to Al
Cue_1	None		6	

スタジオスピーカー(ヘッドフォン)に送るソースを選択できます。

		Talkback			
20		TB_Mic		Reset	Talk to All
Cue_1	Destination Source		E		
	ST1 (Stereo Mix) MB1 (Mix Bus) None				



Contraction Contra T : 03-5723-8181 F : 03-3794-5283 U : http://www.dspj.co.jp



Appendix 1:モニター チャンネルの名称

Name	Bus
L	Left
С	Center
R	Right
Ls	Left Surround
Rs	Right Surround
LFE	Low Frequency Effects
Lc	Left Center
Rc	Right Center
Cs	Center Surround
SI	Side Left
Sr	Side Right
WI	Wide Left
Wr	Wide Right
VoG	Voidce of God
ті	Top Left
Тс	Top Center
Tr	Top Right
Trl	Top Surround Leeft
Trc	Top Surround Center
Trr	Top Surround Right
BI	Bottom Left
Вс	Bottom Center
Br	Bottom Right
Brl	Bottom Surround Left
Brc	Bottom Surround Center
Brr	Bottom Surround Right

Name	Bus
Bsl	Bottom Side Left
Bsr	Bottom Side Right
VoD	Voice of Devil
LFE2	Low Frequency Effects 2
Bsl	Bottom Side Left
Bsr	Bottom Side Right
VoD	Voice of Devil
LFE2	Low Frequency Effects 2



Solution of the second state of the second sta T : 03-5723-8181 F : 03-3794-5283 U : http://www.dspj.co.jp



Appendix 2: Factory Speaker Sets

None	
Mono	
Stereo	
2.1	
Stereo Suround	
3.0 / LCR	
3.1 / LCR	
3.0 Surround	
3.1 Surround	
4.0 Quadro	
4.1 Quadro	
4.0 Surround	
4.1 Surround	
5.0 LCR	
5.1 LCR	
6.0 LCR	
6.1 LCR	
6.0 LRC	
6.1 LRC	
7.0 LCR	
7.1 LCR	
7.0 / ITU-I (0+7.0)	
7.1 / ITU-I (0+7.0)	
7.0 SDDS	
7.1 SDDS	
7.0 / ITU-C (2+5+0)	
7.1 / ITU-C (2+5+0)	
8.0 LCR	
8.1 LCR	
9.0 LCR	
9.1 LCR	
9.0 / ITU-D (4+5+0)	

11.0
9.1 / ITU-E (4+5+1)
11.1
Dolby 3.0
Dolby 5.0
Dolby 5.1
Dolby 7.0
Dolby 7.1
Dolby 9.1
Dolby Atmos 5.1.2
Dolby Atmos 5.1.4
Dolby Atmos 7.1.2
Dolby Atmos 7.1.4
Dolby Atmos 7.1.6
Dolby Atmos 9.1.2
Dolby Atmos 9.1.4
Dolby Atmos 9.1.6
10.2 TMH
12.2 TMH
Auro 8.0
Auro 9.1
Auro 10.1
Auro 7.4 / TIU-S (4+7+0)
Auro 11.1
Auro 13.1
KBS 10.2 / ITU-F (3+7+0)
NHK 22.2 / ITU-H (3+7+0)
Cube
Cube + Midlayer
Cube (Comers + Faces)
Cube (Comers + Faces+Edge)
30.2 La Totale



Solution of the second state of the second sta T : 03-5723-8181 F : 03-3794-5283 U : http://www.dspj.co.jp